

口の機能を重視した歯科併設サンキッズ保育園の日常

宮崎市医療法人育成会サンキッズ保育園

園長 酒井慎太郎先生



歯科併設の保育園という普段の保育とは一味違った取り組みを皆さんに紹介します。当園は矯正・小児ひまわり歯科併設の保育園です。保育の活動としては、五感を刺激し成長発達を促すというさくら・さくらんぼ保育の理念のもと行っておりますが、歯科併設の園ということもあり、口に特化した独自の保育を組み込んだ新しい保育を実践しています。園児は、歯科衛生士（スタッフ）の子ども達を中心に0.1.2歳をお預かりしています。保育の中で子ども達にどうすることで口の機能を伸ばせるかを試行錯誤し取り組んでいます。遊びを展開していく中で力を入れているのが発語を楽しむ時期を利用した発音練習・舌のトレーニングです。また、給食では、手掴み食べや根菜類を中心とした和食を食べることによって、よく噛める口作りを行っています。子どもの集中力や興味が削がれないよう毎日の口腔機能訓練や口遊びを組み合わせながら行うようにすることで昼食前の10分～15分の口作りの時間を楽しく実践できています。今回は口に特化した保育の日常をお伝えします。